

東日本大震災

特集1 そして今

三月十一日、東日本を突然襲った大震災では、浦安市においても甚大な被害が生じて整然としたまちなみが一変し、市民の生活も大きな影響を受けました。

市内の幼稚園や小・中学校でも、卒業を祝うために手入れされた花壇や校庭も目を覆うほどの悲惨な状況となりました。

応急復旧作業には、学校、行政、地域が一丸となって取り組み、四月には、どの幼稚園、小・中学校でも久しぶりに友達に会えた喜びに、子どもたちの笑顔が輝く新学期を迎えることができました。

各園・学校においては、今回の震災から得た教訓を様々な分野で生かし、新たな「安全・安心な学校づくり」に取り組み始めました。

液状化で地盤が沈下し、泥がたまった校庭—明海小学校3月撮影—



まだ不便さは残るものの、5月には運動会を開催することができました。



応急復旧工事が急ピッチで行われました

その時、学校では…

の恐怖心を和らげる言葉をかけ続けました。揺れが収まると、校内放送で一斉に指示を出し、安全な場所に避難させました。子どもたちもまた、パニックに陥るようなこともなく、落ち着いた行動をとることができました。この間、どの教師も無我夢中でしたが、一人のけが人を出すこともなく、保護者に引き渡すことができたことはたいへん喜ばしいことでした。

学校は公共の施設として、地域の方々のための避難所開設という大きな使命もあります。教職員が避難所への誘導、情報の掌握、仮設トイレの設置などの対応に追われているうちに自ずと地域の方々と協力関係が生まれ、ともに対応にあたりました。



生涯学習施設も大きな被害を受けました。(エスレ高洲の被害の様子)

地域とともに

授業再開にあたっては、地域の皆様に様々な協力をいただきました。

これまでに地域とともに創り上げてきたものが大きな実を結んだ例もありました。

高洲北小学校では、平成二十一年度に災害時の「避難所開設・運営マニュアル」を地域、学校、保護者、行政が連携して作成しました。それをもとに地域の方や教職員で「避難所開設訓練」を二年間にわたって実施

しました。

今回の震災では、この訓練が生かされ、自治会の方々がいち早く学校に駆けつけ、中心となつて避難所を開設しました。そのため、教職員は児童の安全確保と保護者への安全な引渡

しをスムーズに行うことができました。

校舎の周りにたまつた土砂の撤去や土のうの運搬など、地域や保護者の方々にご支援をいただいた学校も少なくありません。また大勢のボランティアの方々による様々なご支援もいただき、まさに地域に支えられた学校再開でした。

これからの学校づくり

今回の震災では学校も多くの教訓を得ました。

各学校・園では、近隣の幼稚園、小・中学校が手を携えて、様々な取組を始めました。

その一つとして、美浜中学校区(美浜中、美浜北小、美浜北小、美浜南小、美浜南幼)では、九月一日の防災の日と同じ時間帯に引渡し訓練を行いました。

今回の震災の教訓をもとに訓練では、災害時における学校の対応を保護者に周知することを一番の目的としました。

小学校と中学校に兄弟を通わせる家庭では、どこから引き取

りに行くかは家庭の判断に任ざれています。今回、近隣の幼稚園、小・中学校が同時に引渡し訓練を行ったことで、保護者にとつて実際に判断するよい機会となったようです。

生まれて初めて大きな地震を体験した子どもたちの、心のケアは何よりも大切です。震災後は、学級担任をはじめ、養護教諭やスクールライフカウンセラー等、教職員全体で、子どもたちの表情や行動など、心の健康状態を観察し心のケアに努めました。学校によっては、県のスクールカウンセ

ラーを要請したところもありました。

教育委員会でも、子どもたちの状況把握に努めるとともに、参考資料の配付や教職員を対象とした研修会を実施しました。今後も各幼稚園、小・中学校において、子どもに寄り添いながら、緩やかにじっくりと心のケアに取り組んでいきます。



美浜南小、美浜南幼稚園合同の引渡し訓練の様子

くに担任がいない子どもたちが何人もいました。しかし、驚きや恐怖を我慢し、泣き声や話し声ひとつせず、すばやく全員が避難し、わずかな時間で全員の安全を確かめることができましたのは、日頃の訓練のおかげです。日頃の備えの大切さを改めて思い知らされました。

まもなく、保護者への引渡しを開始しましたが、最後のお迎えは翌12日の15時25分。互いに連絡がつかず、子どもも保護者もどんなに心配し、また、心細かったことでしょう。

全員を無事に保護者に引き渡すことが出来、ほっとした瞬間でした。(市立小学校 教頭)



震災によりホタルの飼育環境も大きな被害を受けました。水も干上がりあきらめていたところ、元気に飛翔する姿を見せてくれました。小さな堂の灯が子どもたちに大きな元気をくれました。—入船南小学校—



舞浜小学校前の桜並木は、子どもたちの自慢です。この道路も震災で大きな被害を受けましたが、桜は今年もきれいなトンネルを作って子どもたちを迎えてくれました。—舞浜小学校—

コラム

平成23年3月11日

あの日あの時、勤務先の小学校では低学年は下校直前の帰りの会、3年生以上は6時間目の授業中、420名あまりの児童が全員、学校にいた時間でした。私は職員室で校内放送のマイクを握り締め、なかなか納まらない横揺れの中、校庭の地面が右に左に動き、プールの水が大きく波打つ信じられない光景を目の当たりにしたのです。

当日は、3年生の総合的な学習の時間の発表会の最中で、児童はグループごとに校内各所で活動中、近